

郷の集い

行 校 会
小 護 会
新 郷 愛
編 集 責 任 者
齋 藤 一 郎
印 刷
久 野 印 刷 株

学校建設準備すすむ

新郷小学校改築期成同盟会長 吉江照夫

愛護会の皆様は小学校改築期成同盟会の今日までの経過の御報告を簡単に申し上げます。

改築問題は昭和五十年頃より地区で持ち上り話題となりました。当時の区長、議員、PTA、地区代表者で色々協議を重ねて参りましたが、現校庭ではどうすることも出来ず、町当局とも話し合いましたが、町長は声原、北潟、本荘小学校も皆立派な学校が建ち次は新郷の番だと申されて居られました。我々地区民は隣の本荘が近代的な立派な学校が建設されたのを見て同じ町民でありながら、又新郷の子供達をこのまま見て居るわけにもいけないと、全校下挙げて新郷小学校を改築したいと強い熱意が高まり、改築期成同盟会が結成されました。昭和五十二年当時新郷地区に土地改良事業が持ち上りました。此の機会

に是非とも学校用地をお願いし、地区全域で協同減歩にて挙出して頂きます様にお願いを申し上げ、学業・スポーツ・研修等百年の大計、地区の文化の中心であり挙って充分御利用出来ます小学校として七、二〇〇坪をお願いしたわけでございます。お蔭様にて地区民の暖い熱意で御理解を頂き用地の確保が出来ました事を心より厚く御礼申し上げます。

さて用地は出来ましたがのの一行に学校は建たないとの御意見も出ましたが役場庁舎の老朽化の問題が持ち上り早急改築と云う事に相なり、そのため新郷小学校はその次との事です。町の財政のこともあり色々問題があると思いますが、ようやくして学校用地の買収も九月議会に於いて坪当一一、〇〇〇円にて話し合

いと思えますが、一日も早く理想的な立派な学校が建築されます様にこの地区民挙って強く願って居りますので我々役員も一生懸命町当局と話し合い、ようやく改築の見通しが出来た様に思います。

昭和五十六年度は調査設計並に側溝整地と五十七年、五十八年度にて校舎、体育館完成と町の年次計画にな

って居る様でございます。此れも一重に地区民の暖かい御理解と町当局の御理解あるたまものと深く感謝して居る次第でございます。

今後、愛護会の皆様には何かと御世話になり御協力をお掛けすると思いますが、御指導とご鞭撻下さいませ。様お願い申し上げます。まだまだ申し上げたい事は沢山ございますが次機に申し上げる事に致しまして、至極簡単ではございますが、「郷の集い」の紙上をかり

望みます。

私は、五十三年の夏に、三国町から移転して来た者です。かつては、私も新郷小学校へ通いましたが、現在の校舎は、私が昔学んだ校舎と変わりなく私にとって、なつかしい校舎です。

私が芦原町へ移転する少し前の事です。子供二人に、新郷小学校を見せて、夏休みが終ったら、この小学校へ転校する事、又私も昔この学校へ通っていた事を話しました。しかし子供には古い小学校というイメージしかなく、「お父さんは、こんな古い学校へ行ったんか。」と言います。

私は、「学校の新しい、古いで勉強するのではなく、中で習う生徒がしっかりしていればよい。」と話しましたが、今日の様に科学の進歩している時代では、教科書はもちろん、各種の設備等で習う事も、多々あると思

います。

今年の研修旅行では、丸岡町の小学校を訪問致しましたが、設備の整った新しい小学校でした。

私達の小学校も一日も早く新しく生まれ変わる事を望みます。

校舎に思う

蓬田 満治

私は、五十三年の夏に、三国町から移転して来た者です。かつては、私も新郷小学校へ通いましたが、現在の校舎は、私が昔学んだ校舎と変わりなく私にとって、なつかしい校舎です。

まして改築期成同盟会。今日までの経過のご報告と致します。

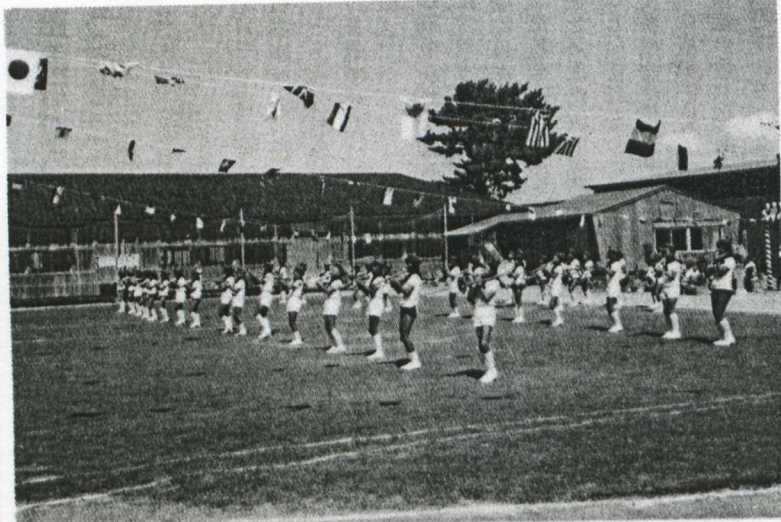
保健体育委員長
藤山 勇祐

私は伝統ある新郷小学校愛護会の保健体育委員長を拝命と同時に町子供会育成連絡協議会の理事と云う重責を四月に就任以来、如何に皆様の御期待にこたえる事が出来るか、不安で心中おだやかならぬものがありました。が、愛護会諸先輩の御指導、並びに校長先生、諸先生方の御協力のもと、今日まで大過なく過して来ました事に対しお礼申し上げます。

現在まで各種行事も多々

ありましたが、私自身も申しませうか、充実感と申しますか、それは、芦原町で初めて実施した女子フットベースボール第一回大会に新郷校が優勝し、コーチの立場で児童と手をたずさえて喜び合った事です。

又、先般実施した校下運動会も天候に恵まれ、幼稚園から老人まで、共に走り、跳び、又踊り、有意義な一日を過し、保健体育委員長としての職責を事故なく終了した事等であり、来年三月末までの任期を皆様の一層の御指導と御協力のもと自己の職責を遂行する覚悟



この校庭とももうじきお別れ……。

研修旅行 七月十三日

齊藤 一代

今年の研修旅行は日曜日に行なわれるというので私も早速参加させていただきました。

私にとって学校視察という初めての貴重な体験をさせていただきました。

よその子供達はどんな学校で又どのような設備の中で勉強しているのだろうかという期待に胸はずませて目的地の鳴鹿小学校に向かいました。この学校は右端に六角形の幼稚園遊戯室、左端に体育館を備えた横に長く伸びた近代的な校舎でした。

正面玄関で校長先生、教頭先生のお出迎えをうけ、二階の会議室で校長先生から学校の概要が話され、一学年一クラスという事で新郷小と同規模の学校だということでした。

さらに新校舎設立時の苦労話などもされました。県や町に対する陳情、会員や地元有士の方への資金援助のお願い等色々とお苦勞があったようですがそのかいがあったようですね。設備の整った立派な校舎が出来上り子供達は明るく元氣よく勉学に励んでいるとの事です。



ただいま研修中 (鳴鹿小にて)

鳴鹿小学校視察
越前和紙の里
今庄サイクリングセンター

西正 清美

私達の新郷小も近い将来新築されると聞いておりますが一日も早く明るい教室で又広い運動場で勉強やスポーツが出来ることが子供達と共に期待しております。

今回初めて研修旅行に参加させていただきました。日曜日とあって参加者も多く、天候にも恵まれて本当に楽しい一日でした。

——自転車のペダルを踏みながら
思ったことはやっぱりうちのこと——

齊藤 麗子

子供達の現在と将来を考えたの鳴鹿小学校視察は、私達にとって大変参考になったと思います。

近代的設備が整って、良い環境にも恵まれた理想的なすばらしい学校、本当に羨しいかぎりです。しかし、これまでには、先生方、御父兄の方のほかりしれない苦勞があったとの事。説明を聞いて私は、大変だったという事を痛感しました。皆さんそう感じられたのではないのでしょうか。

しかし、あまりにも恵まれません。子供達にとって、これで良いのだろうか。

ないものをいかに工夫して補うか、皆で力を合わせて努力する事、品物を大事にする習慣を身につける事が子供にとって大切ではないでしょうか。最近の親達は物を与えすぎる風潮にあると思われませんが、反面設備がない為に子供達が、勉強が出来ないので困るし、今後私達親が子供をいかにしつけるかが、大切なのではないのでしょうか。

学校視察をして将来の不安と期待でいっぱいです。今回の旅は、私にとって、有意義な旅行でした。

七月十三日、今年の愛護会研修旅行は、好天に恵まれ、とても有意義な楽しい一日を過ごさせていただきました。

最初に訪れた鳴鹿小学校では、グラウンドの広さ、環境の良さ、各室内の落ち着いた色合いの良さ、子供の事を考えた床板等、うらやましい事ばかりで一日も早く新校舎が出来上る事を願った次第です。

和紙の里、越前の里を経て、今庄のサイクリングセンターへ、サイクリング専用の道路を回るのかとばかり思っていました。行ってみてびっくり、自転車の横は車を通るし、坂又坂の難所続き、一日も車無しの生活は考えられない車社会に生活する私達にとりましては、十二キロメートルの道のりは大変な重労働でしたが、とても心に残る一日でした。

役員の皆様方がとうございました。

我が子に

江畑 洋子

農家に生まれ育った私どもには、季節感としまして、

田んぼの変化をわすれる事が出来ません。そして今年には、あたり一面の田んぼに苗が植えられるころ入園式を迎えたわが子。私どもの季節感も、今年からは、わが子の学校行事に変えられていくのを、覚えます。

四月、入園式。行くのがいやと泣きほしくないかと、心配する気持ちとは裏腹に、元気に通園する姿を見て、胸をなでおろしたものです。五月、遠足。六月、梅雨時を迎え、田んぼの苗も気にかかりつつ、小さな体に黄色の雨がガッパ。カッパが歩いている様で、おかしさと、かわいさにおもわず笑ってしまいました。

七月、八月、夏休み。九月の運動会には、親子そろって汗を流した一日……。

こうしてやがて、冬を迎え田んぼは一年の休みにはいれるのですが、わが子には休むことなく、成長していつてほしいと願わずにはいられません。

時の流れの速さを感じる時、懐古する自分が、そこにいます。自分が歩んで来た道を、わが子も、歩むのでしょうか。いや、これから長い人生を、私以上に歩んでほしいと願う、今日この頃です。



運動会に思う

新郷 美枝子

南風に乗って鼓笛隊の練習の音、先生の声が聞こえてきますと、「あ、運動会もすぐだな」と思いながら、九月十四日。とても良い天気になりました。子供達の元気で伸びた姿にファイト有り、涙有り、スリル有り、有意義な一日でした。私達昭和二十三年生まれは大勢なので、初めて見た新郷の運動会はとても淋しく映りましたが、今ではこの地区全域のアウトホーム的な運動会が楽しみになりました。

新郷校はとてもスポーツの成績が良いと聞きます。この楽しい運動会が子供達の心身に良き肥料となつて、ますますの活躍となります様、応援しております。

秋晴れのよい天候に恵まれ、とても楽しい運動会でした。年々子供も大きくなり、出場する種目も充実し、応援していて、とてもうれしく熱が入るのです。また、あのすばらしい鼓笛の演技を見ていて、涙が出る思いです。新郷校は生徒が少ないにもかかわらず、他校に劣らず、あれだけに仕上げるには並々ならぬ先生のご苦労とご教示があった事と感謝する次第でございます。

今年はお老人のゲートボールの演技も開催して頂き、本当によかったと思います。これからは是非参加して頂きたいと思えます。家族全員で参加し、年中行事の一つとして、こんなに楽しい一日はありません。これからも新郷地区あげてこの家族的なムードを壊さず、皆が一致団結してやっていって頂きたいと思えます。

待ちに待った運動会、朝から良い天気に恵まれ、弁当を作る手にも力が入りました。

元氣一ぱい、走っている我子に「ガンバレ!」と声をかけると、ふりかえって「ニコリ!」二等になってしまいました。失敗失敗。鼓笛やリズムなど、練習に練習を重ね、立派に披露され、見ている我々も、今にも手や足が動きそうになりました。

赤、白組の応援合戦も、はずかしそうにおみこしをかついだり、又スタイルよろしく手拍子や、大きな旗をふっての激戦でした。前日からの先生や御父兄の仕事を手伝うの用意など、子供達のこの一生懸命な姿を目の前にしていると、どこかへふきとんでしまいそうです。

親として

植田 絹枝

うちの子が新郷小学校にお世話になるようになって二年目、いろんなことがありましたが親として一番うれしかったことは母親学級の時でした。子供達は親がくるのを玄関にたまって待っており、私が学校の玄関に入ると我が子のとてもうれしそうに笑顔が目に入りました。今まで見たことのないようなとてもうれしそうに顔です。親として他にた

て聞かせ、わかってもらえたら「僕達もがんばろう」という気をおこし、非行には走れない。又、「この子は勉強が出来ない、先生や親のいうことは聞かない。」ときめつけないで、どんな子にも長所はある。その長所を見つづけるのが、母親であり、先生である。二時間余りの講演の中で感動したことはばかりでした。子供を育てるといふことは、一日一日が勝負です。

今日という日はもう戻って来ません。一人で勉強することは困難です。でも多くの人が、いろんな研修の場所へ参加させて頂き、一つでも学ぶものがあれば幸いです。たいへん有意義な一日でした。

親がこわかったものですが、最近の子供は親を友達位にしか思っていないようです。現代の社会ではそう変わりつつあるのかも知れませんが、やはり子供は子供らしく、元気で素直であってほしいと思います。

今の世の中は、とても複雑と言うか「恐い」としか言えない社会の中にあると思うんです。毎日、新聞を見ますと、決まって、犯罪、誘拐、色々と、良い事は偶に。こう言った現在に生きる子供、これから生まれて来る子供は、不幸としか思えない。どうしてこの世の中に、良い人、悪い人が区別されるように生きているんでしょうか。私の幼い頃と比べると考えられない事です。この変わったこの頃に、もっと明るいニュースがあつて欲しいものです。

私には、二人の子供がいますが、まだ幼いのでとても心配になる事です。そして大きく成長するまで、何もない人生を過ごしてもらいたいものです。せっかく、育てて来た我子もよし、そういう事になっている状態ならば、とても悲しい。かと言って私には、自信がないと思う。もっと、安心な社会を皆が助け合い、明るく生きて行く事ではないでしょうか。

母と女教師の会に参加して

副会長 安竹 美枝子

母と女教師の会に参加して去る十月十二日、福井豊小学校において開かれました。講堂には、教育熱心な先生方、そして一つでも子供のために、自分自信の為に、覚えて帰ろうと思っている母親達で一杯でした。お話を下さった先生は「江、畑道子」先生です。静まりかえった講堂で、落ち着いた口調で語られるのを、じいっと聞いてみると先生の胸の中へ入ってしまふような錯覚を覚えました。

子供を育てる苦労、これは先生も我々母親も常に悩ま考えていることではないで

「子は親の背中を見て育つ」という昔のことわざの通り、父さん、母さんは働いているということを見せ、このような苦労をして来た事、子供の小さかった時の事、一こま一こまを子供に言っ

て聞かせ、わかってもらえたら「僕達もがんばろう」という気をおこし、非行には走れない。又、「この子は勉強が出来ない、先生や親のいうことは聞かない。」ときめつけないで、どんな子にも長所はある。その長所を見つづけるのが、母親であり、先生である。二時間余りの講演の中で感動したことはばかりでした。子供を育てるといふことは、一日一日が勝負です。

今日という日はもう戻って来ません。一人で勉強することは困難です。でも多くの人が、いろんな研修の場所へ参加させて頂き、一つでも学ぶものがあれば幸いです。たいへん有意義な一日でした。

親がこわかったものですが、最近の子供は親を友達位にしか思っていないようです。現代の社会ではそう変わりつつあるのかも知れませんが、やはり子供は子供らしく、元気で素直であってほしいと思います。

今の世の中は、とても複雑と言うか「恐い」としか言えない社会の中にあると思うんです。毎日、新聞を見ますと、決まって、犯罪、誘拐、色々と、良い事は偶に。こう言った現在に生きる子供、これから生まれて来る子供は、不幸としか思えない。どうしてこの世の中に、良い人、悪い人が区別されるように生きているんでしょうか。私の幼い頃と比べると考えられない事です。この変わったこの頃に、もっと明るいニュースがあつて欲しいものです。

私には、二人の子供がいますが、まだ幼いのでとても心配になる事です。そして大きく成長するまで、何もない人生を過ごしてもらいたいものです。せっかく、育てて来た我子もよし、そういう事になっている状態ならば、とても悲しい。かと言って私には、自信がないと思う。もっと、安心な社会を皆が助け合い、明るく生きて行く事ではないでしょうか。

赤、白組の応援合戦も、はずかしそうにおみこしをかついだり、又スタイルよろしく手拍子や、大きな旗をふっての激戦でした。前日からの先生や御父兄の仕事を手伝うの用意など、子供達のこの一生懸命な姿を目の前にしていると、どこかへふきとんでしまいそうです。

町サッカー大会(Bゾーン)に優勝

新郷校は伝統的にスポーツがさかんですが、今年もまた各大会でよい成績を挙げました。ここに子ども達の記録を掲げて健闘を賛え、併せて、ご指導いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

第十回町児童水泳大会

- 五年二五m自由形(男子) 六年五〇m背泳(女子)
- 二位 土田 正美 三〇六 三位 森 由香里一〇七
- 五年二五m自由形(女子) 六年一〇〇m自由形(男子)
- 一位 斎藤 直子 二〇二 一位 斎藤 嘉康一〇五
- 二位 山田 康代 三三〇 六年一〇〇m自由形(女子)
- 五年二五m平泳(男子) 二位 山崎早陽里一〇九
- 三位 篠崎 康弘 三三三 六年一〇〇m平泳(男子)
- 五年二五m背泳(男子) 三位 高嶋 利夫二〇六
- 二位 堂島 正弘 六〇 六年一〇〇m平泳(女子)
- 五年二五m背泳(女子) 二位 山崎 明子三三六
- 二位 斎藤 直子 三〇六 六年男子一〇〇mリレー
- 五年五〇m自由形(男子) 二位 斎藤、北川、土田、青木 一三九
- 一位 土田 正美 四九三 四年二五m自由形
- 五年五〇m自由形(女子) 一位 堂島 正弘 三三五
- 三位 斎藤 直子 三〇 一位 斎藤 直子 三〇五
- 五年五〇m平泳(男子) 二位 篠崎 康弘二〇四 町新記録
- 二年二五m平泳(男子) 二位 小島 裕子 三三五
- 三位 北川 佳宏 三六八
- 六年二五m平泳(女子) 二位 山崎 明子 三六九
- 二年二五m背泳(男子) 三位 小嶋 彰 三六五
- 六年二五m背泳(女子) 一位 森 由香里 三三三
- 一位 斎藤 嘉康 四〇一
- 六年五〇m自由形(男子) 夏休み理科作品コンクール(植物採集)
- 六年五〇m自由形(女子) 銀賞 六年 吉江康世
- 三位 山崎早陽里 四〇五 銅賞 五年 土田正美
- 六年五〇m背泳(男子) 芦原町子ども会親善将棋
- 三位 小嶋 彰一〇五六 二位 五年 安竹隆美

第十七回町学童運動会(五・九・二五)

- 四年持久走(四〇〇m) 三位 小嶋 裕子二〇一
- 五年持久走(五〇〇m) 四位 安竹 隆美
- 六年持久走(一〇〇〇m) 三位 高嶋 利夫三三〇
- 五年走り幅とび 二位 山本 幸夫 三三三
- 二年走り高とび 一位 山田 康代 一〇九
- 六年走り高とび 一位 森 由香里 一七二
- 三位 山崎早陽里 一七二
- 五年一〇〇m 二位 山本 幸夫 一五六
- 二年 山崎 幸夫 一五六
- 三位 青木 隆博 一四九
- 二年 山崎 幸夫 一五六
- 三位 青木 隆博 一四九



ヤッター!!新郷の女子は強いなあ

六年四〇〇リレー 三位 青木・北川 高嶋・斎藤 一・二六

仲良しの二人お手柄
去る十一月十日、六年生の吉江康世さん、吉江かおるさんに金津署から感謝状が贈られました。

二人が逃走中の空き巣ねらいの車のナンバーと服装を覚えていたことが、犯人逮捕のきっかけとなったものです。

二人の活躍は、新聞紙上にも取りあげられて広く知られるところとなりましたが、学校では、自分達の友達が表彰を受けたということで、驚いたり、喜んだりで大騒ぎだったといえます。毎日の新聞が子ども達の新しいニュースを伝えていますが、二人のお手柄は後にはさすがの残る思いがします。

未来をみつめる子供達の眼を見つめていこう

○九以下の者の割合
全国 一五・四% 男
二十・六% 女
福井県一六・七%
新郷校四八・一%

近視の原因として、テレビマンガの見過ぎ、偏食などがあげられますが、子どもの澄んだ目を守るのにはやはり私達大人の責任だと思います。

編 集 後 記

今年度第二号をおとどけします。諸般の事情から発行の遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

今回は、学校建設・春の研修旅行・運動会・記録会等を中心に構成しました。前回とは少々内容豊かで愛護会の新聞としての体裁がとれたように思われます。

次回、第三号は、六年生の卒業を記念して「わが子育ての記」を集めたと思います。子どもの成長の跡をみんなして喜びあいたいと考えています。その他、地区のニュース、特ダネ、ヒミツなんでも結構です。本紙で広く公開したい方は、お近くの学級委員にまでお知らせ下さい。次回もふるっで御投稿下さいますようお願い申し上げます。(Z)

行事予定

学級懇談会(学) 十一月十七日 低学年
十八日 中学年
十九日 高学年
幼稚園

保護者会(学) 十二月二十三日
一月 町子ども会
カルタ大会(補)
二月 父親学級(学)
三月 町子ども会
卓球大会(補)
愛護会総会(企)